

令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（短期）

施設名 京都市菊浜老人短期入所施設

1 施設の管理運営

<p>①開所日 : 24時間 365日 ②利用定員 : 40名 ③通常の事業の実施地域 : 京都市内 ④施設の管理運営に関する取組 ⑤短期入所生活介護及び介護予防短期入所生活介護 ⑥京都市短期入所生活介護緊急利用者援護事業 ⑦京都市身元不明高齢者緊急一時保護事業 利用者が可能な限りその居宅においてその有する能力に応じ自立した日常生活を営む事ができるように、入浴・排泄・食事等の介護その他日常生活上の支援及び機能訓練を行うことにより利用者の心身の機能の維持回復を図り、利用者の生活機能の維持又は向上を目指す。</p>
<p>(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容</p>

2 事業実施内容

<p>① サービスの質の向上</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者、利用者家族向けのアンケートを実施した。・アンケート結果、改善点などを会議にて検討し、内容を公表し配布した。・サービス事業所へアンケートを実施し、内容を公表配布した。・自施設マニュアルを改訂し、よりスムーズなサービス提供ができるように努力した。・利用者の中で希望があれば、個人面談を実施した。・委員会活動（リスクマネジメント、BCP策定、研修、業務改善、サービス向上、虐待防止検討）を実施した。・事業所内のマニュアルを定期的に見直し、効果的な物にした。・職種別の会議や、主要メンバーでの運営会議、法人内会議、法人内ブロック会議を開催し、職種毎の目標にむけて取り組んだ。 <p>② 短期入所介護計画書の充実と個別ニーズの把握</p> <ul style="list-style-type: none">・介護計画書を入所時毎に随時見直しを実施した。・退所時は必ずカンファレンスを実施し個別ニーズ等の把握、計画に対する評価を実施した・利用事前の訪問や聞き取りだけでなく、入所時や面会時に本人や介護者や家族からも聞き取りを実施した。・書式を変更し家族希望も含めより具体的に記入できるようにした。 <p>③ 職員研修</p> <ul style="list-style-type: none">・経験年数や、本人の希望に沿った外部研修、法人内研修に参加した。・研修委員会の活動にて、年間計画を立て、定期的に内部研修を実施した。・職員会議等を利用し、身体拘束や不適切なケア等の勉強会を実施した。・全体会議の中で復命研修会を実施した。・感染症予防対策として、実地研修を行った。 <p>④ 地域交流</p> <ul style="list-style-type: none">・地域のイベントや会議に可能な限り積極的に参加した。 <p>⑤ 法人内連係</p> <ul style="list-style-type: none">・同センターとの定例会議において情報交換を行った。
<p>(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容</p>
<p>(参考) 自主事業内容</p>

3 サービス提供状況

<p>施設長 : 1名 相談員 : 2名 看護師 : 3名 機能訓練指導員 : 1名 介護職員 : 6名 医師 : 1名 その他職員 : 3名</p>
<p>(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容</p>

4 市内中小企業への発注に対する考え方

<p>本会においては、本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としています。一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積もり合わせを行っています。</p>

5 施設の利用状況(施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など)

(1) 稼働率(年間実績値)

63.5 %

(2) 年間利用延べ人数(実績値)

9271 件

(3) 収支実績

ア 令和4年度収入状況(単位:円)

介護保険収入	98,191,724
利用料収入	23,182,969
委託料収入	
補助金収入	
寄付金収入	
雑収入	
その他	55,613,920
収入計	176,988,613

イ 令和4年度支出状況(単位:円)

人件費	105,677,901
事業費	43,067,813
委託費	
小額修繕費	
その他	28,167,999
支出計	176,913,713

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

配布 91人・回答 47人・回答率 52%

(2) 利用者満足度把握の結果

全体としての満足度 満足70%・やや満足19%・やや不満11%
「コロナ禍、スタッフ、利用者とも罹患して大変でしたが、よくあきらめず運営して頂きありがとうございます。」と激励のお言葉もいただきました。
朝食やメニューへのご要望や、送迎についてもご意見を頂戴している。
また、ご利用中の様子をお知らせしている内容についてもう少し詳しく記載(入浴の時間等)してほしい等のご要望もお聞きしている。

(3) 意見等への主な対応状況

持続可能な運営を行っていくために感染予防対策を継続していく。
委託業者との調整についても、引き続き協議し、改善できるよう努力します。
個別の希望、要望は、可能な限り迅速に対応します。

7 その他特記事項

(1)

京都市緊急ショートステイ利用援護事業として虐待や生活困難な状況の方の受け入れ、身元不明者一時保護事業対象者の受け入れを行っています。これら以外にも京都市内最大ベッド数を誇る事業所として「緊急ショートステイ受け入れ加算」の対象となる利用者も多く受け入れ、その責務を果たせるよう努めています。

(2)

--

8 評価（指定管理者自己評価）

ショートステイの利用者が重度化や多様化しているが、市民のニーズに応えるため、一般・緊急ショートステイのどちらとも可能な限りの受け入れを行った。高齢者虐待防止に関する研修や人のかかり方など研修を行い、職員間の関わりや対応の仕方について理解を深めた。財務面においては、安定的な施設運営に向け送迎実費や給食にかかる経費の見直しのほかにも取り組みを継続して実施していく。

次年度も引き続き「京都市長寿すこやかセンター」と連携、研修や相談事業を実施し、様々なケースに対応できる施設としてその役割の幅を広げたい。当事業所の運営理念にもある「心と心の交流ができる、身近な施設を目指します」を常に意識し、御利用者・御家族に必要とされる施設作りを目指し、ボランティアや地域の方々との連携を回復して、今まで以上に地域の一員として受け入れられるよう努力し続ける。